

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1、子宮頸がんから命を守るために（20分）</p> <p>公益社団法人日本産婦人科学会によると子宮頸がんは子宮の入り口部分にできる「がん」で年間約10,000人程度の女性が子宮頸がんにかかり約2,800人もの女性が亡くなっています。最近では、特に若い年齢層の患者さんが増えています。</p> <p>子宮頸がんの原因はヒトパピローマウイルス（HPV）と呼ばれるウイルスが関わっており、患者さんの90%以上で見つかっています。また、HPVは一般に性行為を介して感染することが知られています。</p> <p>子宮頸がんの予防法として、HPVワクチンを接種することでヒトパピローマウイルスの感染を防ぐことが挙げられます。</p> <p>2013年4月に定期接種となりましたが、副反応とされる症状が多数報告されたため、わずか2ヶ月で積極的な接種勧奨が取りやめになりました。鶴ヶ島市のホームページにおいても「厚生労働省の勧告に従い、積極的な勧奨はしない」と記され、国の最新の動向なども反映されていません。公費で賄われる定期接種の一つであるにもかかわらず、ワクチンの存在すら知らない人も増えています。</p> <p>各家庭で子宮頸がんの予防についてお子さんと話し合っていたく機会をつくるためにも、HPVワクチンの情報提供は必要であると思います。また、20歳から受けられる子宮頸がん検診にもつなげられる環境整備が必要ではないでしょうか。</p> <p>そこでお伺いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子宮頸がんワクチン接種の有効性について</li> <li>(2) 諸外国の動向について</li> <li>(3) 2013年及び現在の接種率について</li> <li>(4) 子宮頸がん検診の年代別受診率について</li> <li>(5) 子宮頸がんワクチンの周知の仕方について</li> <li>(6) ワクチン教育の必要性について</li> <li>(7) HPVワクチンについての市の見解について</li> </ol>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p data-bbox="167 324 1018 362">2、自治会をより良くサポートするために（20分）</p> <p data-bbox="167 376 1121 831">自治会は一定の区域を単位として、その地域に住む住民同士が助け合い、協力し合って住みよい地域社会をつくっていく目的があります。その目的を果たすために、区域内での生活上の諸問題や防犯灯などの身近な環境の整備、管理、公園や区域内などの清掃、美化、防災、防犯活動、さらには夏まつりなどの地域の人々との交流、親睦行事などの活動を行っています。こうした行政では、なかなか手が行き届かない生活環境の整備活動や諸行事によって地域の連帯感は生まれていきます。住みよいまちを築くために、自治会の果たす役割は大きいといえます。</p> <p data-bbox="167 846 1121 1041">市内には80の自治会があります。自治会において中心的な役割を果たす自治会長の選出については、各自治会で大きな課題になっているのではないのでしょうか。自治会への加入率も減少傾向のなか、自治会を健全に運営していくために以下お伺いいたします。</p> <ol data-bbox="204 1057 1121 1406" style="list-style-type: none"><li data-bbox="204 1057 730 1095">(1) 自治会加入世帯の推移について</li><li data-bbox="204 1111 890 1149">(2) 自治会長の選出方法及び平均任期について</li><li data-bbox="204 1164 890 1202">(3) 自治会長との意見交換会の持ち方について</li><li data-bbox="204 1218 1121 1301">(4) 令和元年度に実施した自治会アンケートの結果から見えてくるものについて</li><li data-bbox="204 1317 699 1355">(5) 自治会の抱える問題について</li><li data-bbox="204 1370 890 1408">(6) 自治会活動や運営の手引きの作成について</li></ol>	市長